



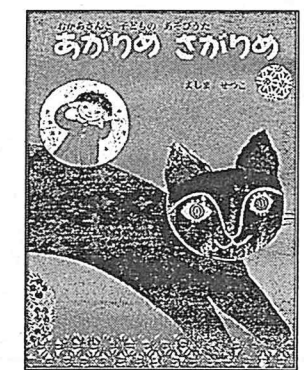
つるおか市立図書館
おはなしポケット 2018. vol.276

特集 ふるさと 庄内出身の絵本作家さん

読書の秋です。今回は庄内ゆかりの絵本作家さんをご紹介します。図書館には、出身作家さんのコーナーもあります。

◀真島節子▶
ましませつこさん
(鶴岡出身)

やさしい、ほんなかな
絵本は、日本的な色の
うつくしい世界です。



『あかりのさがりめ』
絵ましませつこ
こぐま社
1994年

◀土田義晴▶
つちだよしはるさん
(鶴岡出身)

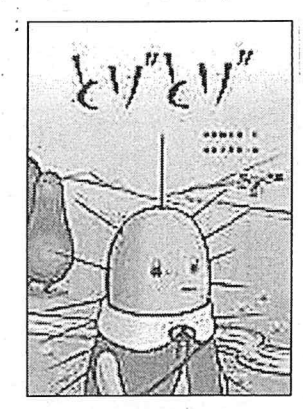
おなじみ土田先生は
庄内のおはなしもたくさん
絵本にしています。
図書館キャラクターの
リドンとエンジェルも先生作。



『おいちゃんのカブづくり』
作つちだよしはる
そうえん社
2008年

◀佐藤茉莉子▶
さとうまりこさん
(鶴岡出身)

山形芸工大卒業の
若手作家さんです。
鶴岡在住です。



『とげとげ』
文・内田麟太郎
絵 佐藤茉莉子
童心社
2010年



11月

霜月

おさがり月

日	月	火	水	木	金	土
休館日◎ 毎週月曜日 (祝祭日に重なった場合は翌日)				1	2	回3 文化の日 3じおはどん
開館時間◎ 平日 9:30~19:00 ◎土日祝日 9:30~17:00	4	5 休館日	6	7 4じ おはすい	8	9
	11	12 休館日	13	14 4じ~ おはすい	15	16
	18	19 休館日	20	21 4じ~おはすい 昔語りの日	22	回23 勤労感謝の日
	25	26 休館日	27	◎28 4じ~ おはすい	29	30
						3じ~ おはどん

冬のおはなし会

~おはなしポケットが温かいをお届けします~

とき 12月8日(土)・9日(日) Am 10:30~11:30
場所 鶴岡市立図書館 2F 講座室



たいへん、混雑しますので
お乗り合わせの上、ご来館ください

☆人形劇
『番ねずみのヤカちゃん』ほか
エプロンシアターや工作タイムなど
楽しみいろいろ!!
*おはなし会 10:30~11:00
工作 11:00~11:30

住所 鶴岡市家中新町14-7
電話 0235-25-2525

おはなし会
スタンプカード
あります!
スタンプ集めて
プレゼント
GET!

おはすい	おはちび	おはどん
(おはなし あいうび)	(おはなし ちびようび)	(おはなし どようび)
毎週 水曜日 3じ~4じ30分	第4水曜日 3じ~4じ30分	毎週 土曜日 3じ~4じ30分
絵本や紙しばい を中心に、 第4水曜日は 昔がたりの日	0~1才向け おはなし会 ちあそびわらべなど	季節のおはなしや 紙しばいや 絵本など

とちゅうでの
入退場できます。
お気軽にどうぞ

館内おはなし会のご案内

1F 絵本コーナーでやっています

NEWS おはなしポケット 冬のおはなし会のご案内

今年、人形劇『番ねずみのヤカちゃん』やエプロンシアターなど、たいへんおはなしがいっぱいです。工作タイムもありますよ。

館長の



こども室の本棚から



今年も読書週間がやってきました。11月3日の前後の2週間は、読書週間です。今年の標語は、「ホッと一息 本と一息」です。良いですね～。秋の夜長に、お茶を飲みながら読書三昧。ポスターでは、湯気の出ているティーポットさんが、本を読んでいます。やはり読書は、ゆったり、まったりとゆきたいものです。

さて、先日小学校2年生が50人ほど、図書館に来てくれました。施設の見学と絵本を。ということでしたので、絵本の方を担当いたしました。2年生に何を読もうかな？と考えて選んだのが『なんでもみえる鏡 ジブシーの昔話』(フィッツォフスキ再話 内田莉莎子訳 スズキコージ絵 福音館書店1989年刊)です。2年生ということで、少ししっかりとしたお話がいいかなあ。男女関係なくお話に共感できるといいなあ。などと考えたすえ、このジブシーの昔話にしました。昔話によくあるお話で、試練を乗り越えたものだけが、美しいお姫さまの夫となることができる。というお話です。必読書となっていた時期があり、以前は感想画などにも多く



「おまたせクッキー」
パット=ハッチンス 作
乾 侑美子 訳
偕成社
1987年



「なんでもみえる鏡」
ジブシーの昔話
フィッツォフスキ 再話
内田莉莎子 訳
スズキコージ 画
福音館書店 1989年

作品が出ていたので、知っている子ども多いかな？と思ったのですが、なにしろ30年前の本なので、知っている子は少なかったようです。おはなしの始まりは少しざわついていた子どもたちが、骨太のお話とスズキコージの迫力のある絵に、子どもたちの心がきゅーっと集まるような感じがいたしました。終わった後のほっとした感じも読み手としては、とてもうれしい感触でした。

さて、少し時間があまったので、もう一冊『おまたせクッキー』(ハッチンス作 乾侑美子訳 偕成社 1987年刊)を読みました。これまた30年前の本ですが、子どもたちは、絵本の中の子どもたちと一緒にクッキーの数を数え、ドキドキし、最後の場面に笑顔がこぼれました。

クラスごとに2回読んだのですが、どちらのクラスも同じ反応で、面白かったです。読み聞かせボランティアの会のある学校ですので、クラスの仲間と絵本を楽しむ機会が多い子どもたちのなんでしょう。「おもしろかった。」と気軽に私に声をかけ、挨拶をして帰っていきました。

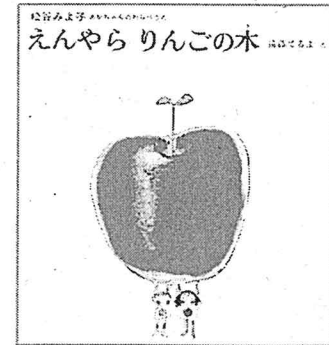


「ものぐさトミー」
ペン・テュボフ作・絵
松岡享子 訳
岩波書店
1977年

ポケットメンバーおすすめの本

食物を食べて遊んでからだを動かすことが体を育てるように、言葉を食べて心を動かすことが、心を元気に育てる一つの方法かも・・・と感ずます。未来ある子どもたちに心身共に健康に過ごしてもらいたい、と願わずにはられません。

食のはじまりが離乳食であるように、わらべうたは言葉(おはなし)のはじまりです。遠い昔から歌い継がれ、先人たちの知恵がぎゅーっとつまっている、わらべうたえほんを楽しんでみてください。「えんやら りんごの木」(遠藤てるよ・え: 偕成社)は、松谷みよこさんのわらべうた絵本の一冊です。



「種から芽が出て、花が咲いて、実がなる」そんな季節やリンゴの命をめぐっていく様子が、子どもの成長のように感じられます。子供達の発想がとっても優しく温かくてこちらまで心が温かく、楽しくなり、わらべ歌に思いやりがたくさん詰まった素敵な1冊です。

「ととけっこう よがあげた」 絵: まし
ませつこ 案: こばやしえみこ こぐま社

にわとりさんが、「ととけっこうよがあげた」と、みんなを起こしてくれて、「おはよう」のことばと、お日様と共にみんなが笑顔でいられることの幸せを感じさせてくれるわらべ歌絵本です本の最後に、楽譜が載っているので、うたを知らない人も大丈夫です。やさしいママの声を届けくださいね。

おはなしポケット みかん



てあそび・わらべうた・やってみよう

いもにの季節!

『やまからころころ やーまいも』

① やまからころころ
やーまいも

② さとからころころ
さーといも

③ こいももあとから
こーろころ



手をグーにして 頭の上から
キラキラさせるように まわしつ
下におろす



手をグーにして 横から
同じようにキラキラさせながら
前にまわす



手をグーにして
すこしひくところから
キラキラさせる